



# 四つ葉のクローバー新聞



～心をひとつに～ 2015年11月号(第44号)

「四つ葉のクローバー新聞～心をひとつに!～」をお届けします。

この新聞では、山元町や地域包括支援センターをはじめ、山元町社会福祉協議会「やまもと復興応援センター」の復興応援活動、そのほか様々な情報をお伝えしています。

## 心をひとつに!『やまもと復興応援センター』

山元町社会福祉協議会では2015年10月11日(日)に、初の

### 「やまもと地域交流福祉まつり」を開催しました!!

やまもと復興応援センターは、館外での芋煮やヨーヨー釣り・ストラックアウトのコーナーを担当しました。館内でも様々なステージイベントや介護事業所の紹介コーナーが設けられ、多くの方が参加していました。

また各仮設住宅からもたくさんの応援を頂きました。



## 防災コラム 蔵王が噴火したら?

最近落ち着いてきましたが、ちょっと前には御嶽山、口永良部、大涌谷と大変なことになっていましたね。それも他人ごとではなく、宮城には蔵王山という活火山があります。もし、蔵王が噴火したらどうなるのか?

結論から言ってしまうと、偏西風によって山元町に1センチ程度の降灰がある程度でしょう。しかし降灰は厄介です。人体の呼吸器系の病状の悪化、下水道が詰まる&逆流、電子機器、自動車の故障、交通機関、道路への影響、農産物被害、河川生物の死滅など様々な被害が考えられます。

ではもし、噴火したらどうすればよいのでしょうか。

まず、落ち着きましょう。詰まるのを防ぐために縦の雨どいを外す。コンタクトの人はそれを外し網膜剥離を防ぐ。体内と家屋への灰の浸入を防ぐ。家の中で過ごすものを準備する(水、食料、娯楽等)。灰を極小のガラス片と考えれば自ずと対策は見えてくるでしょう。

もし噴火したら、このコラムを思いだしてくださいね。



## 火災に気を付けましょう！

県内の応急仮設住宅スロープ棟の玄関前で火災が発生しました。原因は、タバコの火の不始末です。

幸い大きな火災にはなりませんでしたが、これから空気が乾燥し強風が吹くなど、火災の発生しやすい季節となります。火の始末には十分注意しましょう。

### ～火災予防のポイント～

1. 寝たばこやたばこの投げ捨てをせず、たばこの火はしっかり消す。
2. 電気ストーブの付近には燃えやすいものを置かない。
3. 料理をしているときはその場を離れず、離れるときは火を消す。
4. 家の周りは整理整頓をし、放火されないように気をつける。
5. たき火をしない。
6. 子どもには火遊びをさせない。
7. 電気器具は正しく使い、たこ足配線をやめる。またコードの上には重いものをのせない。
8. コンセントなどにはホコリを付着させない。テレビの裏などは注意が必要。

## 冬に向けて・・・



朝晩と日中との気温の差が激しくなると結露しやすくなります。結露を防ぐことによって、カビ発生を防ぐことにもつながりますので、以下の結露対策をお願いします。

- 台所、ユニットバス、トイレの換気扇を常時回すと効果的です。
- エアコンの除湿機能を利用しましょう。
- 風呂にお湯等を張った状態の時や入浴後は、風呂のふたやユニットバスの扉を閉めましょう。
- タンスや家具などは、壁にぴったりと付けずに数センチ離して設置すると風通しが良くなり、効果的です。

お問い合わせ 被災者支援室 TEL 29-8003

四つ葉のクローバー新聞 2015年11月号(通巻第44号) 2015年11月1日発行

発行:山元町 編集:やまもと復興応援センター

☆山元町被災者支援室 電話 0223-29-8003 <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/>

☆やまもと復興応援センター(山元町社会福祉協議会) 電話&FAX 0223-35-6223